



いわき市立大野中学校

学校だより 第5号

令和 2年10月13日(火)
発行責任者：校長 田中 淳一
TEL：0246-33-2233

教育目標：自立と貢献 ～「問い」を発する生徒の育成～
育成を目指す資質・能力：人間関係形成 × 社会参画 × 自己実現

修学旅行と学習旅行

10月1日(木)から2日(金)にかけて、日光・那須方面(華厳の滝、日光東照宮、日光彫り体験、日光江戸村、那須ハイランドパーク)への修学旅行を実施しました。3年生18名全員の参加を祝うような秋晴れの下、感染症対策を徹底し、学びとつながりを深めてきました。

また、1・2年生は10月2日(金)、双葉町にオープンした東日本大震災・原子力災害伝承館を訪ねました。この学習旅行では、フィールドワークや語り部講話が特に印象深かったようです。

このコロナ禍において、旅行・集団宿泊的行事を無事実施できたことに感謝するとともに、その成果や学びをこれからの学校生活等につないでいけるよう努めてまいります。

なお、修学旅行の様子は、本校ホームページにアップしましたのでご覧ください。



市新人大会

9月26・27日には、ソフトテニス競技とバドミントン競技の市新人大会が開催されました。3年生が部活動を引退し、1・2年生(計8名)の所属する部活動は、ソフトテニス(常設)、バドミントン(特設)、友&愛(常設)の3つとなりました。

市新人大会の結果は次のとおりです。

<ソフトテニス>

- 男子個人戦・・・出場した2ペア、初戦敗退
- 女子個人戦・・・ 〃 1ペア、初戦敗退
- 男子団体戦・・・初戦敗退

<バドミントン>

- 女子個人戦・・・1年女子、初戦敗退
- 女子個人戦・・・2年女子、ベスト8



郷土学習

今年で4年目を迎える本校の郷土学習。講師には、郷土史に造詣の深い学校評議員さんをお招きしました。

9月9日は1年生が恵日寺を訪ねました。恵日寺では、お寺に関する様々な史実をうかがうとともに、貴重な仏像を拝観しました。

9月14日は2年生が玉山古墳や金光寺を訪ね、住職さんからお話をいただき、郷土の歴史を学ぶとともに、郷土に生きる自身のアイデンティティを確かめる機会を得ました。

9月15日は3年生が薬王寺を訪ね、副住職さんからお話をいただくとともに、国の重要文化財・木造文殊菩薩騎獅像などを拝観しました。薬王寺では、山一帯に多くの伽藍が立ち並ぶ往時の光景に思いを馳せることができました。



これからの学校経営・運営に当たって

コロナ禍の中、実施に向けて多くの時間と労力を費やした修学旅行や学習旅行、そして新人大会が終わりました。今後の教育活動においても、実りの秋に相応しい充実した学びが展開できるよう努めてまいります。また、今後は、“With コロナ”時代の学校教育の構築、小規模校・少人数のメリットを最大化し、そのデメリットを最小化することにも意を注いでまいります。

1学期には、本校生徒の実態を踏まえ、重点目標を「『問い』を発する生徒の育成」（問題を発見し、他者との関わりを通して主体的に問題を解決していく生徒の育成）としました。また、育成を目指す最上位の資質・能力を総合的な観点から再検討し、“人間関係形成×社会参画×自己実現”と修正しました。したがって学校教育では、各教科の学習で育む資質・能力と、総合的な学習の時間や特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）で育む資質・能力の違いを明確にして、指導・支援に当たってまいります。



各教科の学習では、「知っている・できる（知識の獲得と定着）」「わかる（知識の意味理解と洗練）」を超えた、「本物」を経験する学習活動（問いや課題）を生徒に保障することが課題となっています。それができないと、「使える（知識の有意義な使用と創造）」レベルの学力が身に付くことはなく、活用できない知識（不活性な知識）となり、授業やテストが終わった途端に消えてしまうでしょう。

現在、10月24日の御城祭に向けて、生徒の自主性や創造性を生かした活動が多く見られ、学校に活気が漲っています。御城祭が終わってからも、指示を待って動くのではなく、学校や自分の生活等の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるような資質・能力を一人一人に育てていきたいと思っております。

さらには、“With コロナ”を転機として、ICTを活用した遠隔・オンライン教育の推進にも取り組んでまいります。